

平成30年度事業計画

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材・団体等を育成し、それらの積極的な活用を図るため、次の事業を行う。

1 但馬ふるさとづくり大学事業 [983 千円]

但馬の自然・歴史・文化・人物など多様な分野の学習を通して、但馬の再発見、地域に対する誇りや愛着心の醸成を行い、新しい但馬づくりの担い手を育成する。

また、引き続き、但馬の歴史や人物を巡る現地学習を実施する。

(1) 但馬ふるさとづくり大学

- ① 期 間 平成30年5月～11月
- ② 会 場 養父市、豊岡市
- ③ 募集定員 100名
- ④ 講座内容 12講座及び現地学習（古代但馬の都「国府・国分寺」）

(2) 但馬ふるさとづくり大学聴講制度

仕事の都合等で多くの講座への継続的参加が難しい方にも学習の機会を提供するため、多様な講座の中から都合の良い日、興味のある講座だけを選んで受講できる聴講制度を実施する。

2 たじまお仕事探検隊 [316 千円]（新規）

但馬の将来を担う子どもたちに、但馬の産業や優れた技術を持つ企業等について学ぶ機会を提供し、子どもの頃から生まれ育ったふるさとを知ることにより地元への愛着や誇りに思う心を育てる。

- ① 講座内容 第1回 「たじまの漁業を学ぶ」
時 期 平成30年7月
第2回 「たじまの企業を知る」
時 期 平成30年11月
- ② 募集人員 各20名（小学校4～6年対象）

3 但馬検定事業 [687 千円]

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外へその魅力を発信するとともに、但馬を訪れる人々に対するおもてなしの向上につなげる。

また、観光協会や企業等の観光関連団体への企業ぐるみの受験を働きかけるとともに、事前講習会を開催するなど検定のPRや裾野の拡大に努める。

(1) 第13回但馬検定

- ① 試 験 日 平成30年9月
- ② 試験種類 1級、2級、3級
- ③ 募集定員 150名

(2) 事前講習会

- ① 日 程 平成30年8月～9月
- ② 会 場 豊岡市、養父市

II 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行う。

1 たじま田舎暮らし推進事業 [9,271 千円 (県民局委託分 (2)~(7) 含む)]

但馬地域への移住・定住を促進するため、「たじま田舎暮らし情報センター」を運営し、移住希望者への情報提供や支援事業を展開する。

(1) 空家見学ツアーの実施 (新規)

郡部地域への移住や2拠点居住を具体的に検討している者を対象に空家(購入・賃貸)、事業兼用住宅等の見学に特化したバスツアーを実施する。

(2) 都市部への情報発信

たじま田舎暮らしポータルサイト「たじま暮らし」で情報発信をするとともに、田舎暮らしガイドブックを活用し、田舎暮らしのPRイベント・相談会に参加して、但馬地域の田舎暮らしに関する情報を提供する。

(3) 移住相談員の配置

情報センターに移住相談員を配置し、U・Iターンを考えている者への移住相談、各市町、兵庫県宅地建物取引業協会と連携した物件紹介等の移住支援を行う。

(4) 移住体験ツアーの実施

先輩移住者との意見交換、子育て支援施設・空き家の見学、街並みの見学などを行うバスツアーを実施する。

(5) 京都府・鳥取県と連携した移住相談事業の実施

社会・経済的に広域的な繋がりのある京都・鳥取と共同で移住相談会等を大阪等で開催する。

(6) 移住・しごと相談会の開催

移住にあたって切り離せない移住後の仕事についても関係団体等と連携してワンストップで相談できる移住・しごと相談会を都市圏で開催する。

(7) コンシェルジュ活動支援事業

- ① 目的 但馬地域の交流人口の拡大、U・Iターン等の移住を促進するため、移住支援活動を行う事業者に対し助成を行う。
- ② 内容 移住体験イベント、移住促進に関する調査・研究、住民の意向調査・合意形成、ワークショップ、広報活動 等
- ③ 助成金額 助成限度額100千円

2 但馬四季彩イベント事業 [4,201 千円]

平成6年の「但馬・理想の都の祭典」の開催趣旨を受け継ぎ、但馬地域内外との交流、地域資源の情報発信及び地域活性化を目的に開催される広域的なイベントについて、実行委員会に対して開催経費を助成する。

(1) 但馬“牛まつり”

① 日 程 平成30年9月(予定) ② 助成金額 2,100千円

(2) 但馬・食文化まつり

① 日 程 平成30年11月(予定) ② 助成金額 2,100千円

3 地域情報発信事業 [14,386千円]

各種広報媒体を多角的に活用し、観光・自然・イベント・ニュースなど但馬に関するあらゆる情報をタイムリーかつわかりやすく提供する。

(1) ホームページ「但馬情報特急」の全面リニューアル(新規)

但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を多分野にわたり収集し提供している「但馬情報特急」について、経年によりサイト構造が複雑化してニーズに合った構成でなくなっていることから全面リニューアルして但馬の魅力情報発信を強化する。

(2) 地域情報発信事業(拡充)

但馬ツーリズムマップ(vol.13)の制作

但馬の多彩な魅力を発信し、交流人口を増やすことを目的にマップを作成する。広告を導入するとともに、観光客や企業から好評を得ていることから発行部数を増やして発行する。

- ・部 数 20,000部 (2915,000部)
- ・配布先 観光協会、道の駅、観光施設、宿泊施設など

(3) 情報誌「T2」発行

但馬の魅力を様々な切り口で紹介するとともに、但馬地域内の観光・イベント等の各種情報を発信するため、情報誌を発行する。

- ① 発行時期 年3回 [夏(7月)、秋(11月)、春(3月)]
- ② 発行部数 各9万部
- ③ 仕 様 A4判カラー印刷(20ページ)
- ④ 配 布 先 但馬内7万部、但馬外2万部配布

※但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、近隣官公庁、金融機関、旅行社、報道機関など

(4) 京阪神PRイベントへの出展(拡充)

但馬内外との交流の促進と都市部における但馬の認知度向上を目的に京阪神地域のイベントに積極的に出店し、但馬地域の観光・食のPR等を行う。

- ① 場 所 地旅フェス(大阪)、大阪国際女子マラソン、神戸ルミナリエ等
- ② 内 容 但馬への旅行相談、食のPR、但馬への移住・定住相談等

(5) 首都圏等への情報発信

メルマガ会員への定期的な配信など首都圏へ向けた情報発信を行う。

4 但馬ファンクラブ事業 [1,731 千円]

但馬の魅力をPRし、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図るため、但馬ファンクラブを運営するとともに、イベント会場などで会員を募集する。

(1) 会員に対する特典の付与

- ① 施設利用の割引等が受けられる会員パスポートの発行
- ② 但馬の情報誌等（T2、パンフレット）の送付
- ③ 但馬の特産品、スイーツのプレゼント
- ④ 但馬内のミュージアム無料招待券配付

(2) 入会PR事業

- ① 各種イベントでの勧誘活動（但馬まるごと感動市、京阪神出展イベント等）
- ② 播但有料道路利用、但馬検定などのコラボ企画の実施

Ⅲ 自然と調和した新しい但馬づくりのための自然環境保全活動に関する事業

自然環境保全運動等のための地域住民運動を盛り上げ、但馬の美しい自然環境を積極的に守るため、次の事業を行う。

1 魅力ある但馬の森・川・海・里環境保全事業 [390 千円]

(1) クリーン但馬支援事業

- ① 目的 参画と協働によるクリーン但馬大作戦事業として環境美化運動・ごみを捨てない、捨てさせない地域づくりの展開拡充を図る団体に対して活動助成金を交付する。
- ② 助成金額 100千円
- ③ 助成団体 クリーン但馬10万人大作戦推進協議会

(2) サケ回帰促進支援事業

- ① 目的 河川・水質環境保全運動の普及促進や、地域の子どものための自然環境学習の素材提供などを行うサケ回帰促進事業に対し助成を行う。
- ② 内容 回帰サケの捕獲・調査、卵着床作業、孵化・給餌、稚魚放流等
- ③ 助成金額 事業費の1/2 助成限度額170千円
- ④ 助成団体 岸田川漁業協同組合

(3) 自然環境学習事業

- ① 目的 但馬の自然の多様性とその保全の重要性を広く周知するため情報発信を行う。
- ② 内容 ホームページ但馬情報特急の中に子供たちが自然環境学習のできるコーナー「たじまのしぜん」の情報発信をNPOコウノトリ市民研究所に委託する。
- ③ 委託料 10千円/月（4回/月程度投稿）